

私たちが暮らすまちには、「地域のために自分も何かできないか」との思いを持つ人が多くいます。「まちづくり」のはじまりは普通の市民の小さな思いから。トークや講座、ワークショップで、会社員、表現者、学生、女性、公務員…様々な思いや立場で実践する事例を通じてまちづくりのアイデアに触れることができます。

1 舞台スタッフ・ラボ @サポセン

11月3日(木・祝) 10:00-12:00
会場:地下1階 市民活動シアター
ゲスト:舞台スタッフ・ラボ コーディネーター 澤野正樹さん(写真中) せんだい3.11メモリアル交流館 館長/せんだい演劇工房10-BOX 二代目工房長 八巻寿文さん(写真下)
定員:30名(動きやすい服装でお越しください) 参加費:無料

イベントの時、いつもバタバタしてうまくいかない…、それは、段取りや各セクションをまとめる“舞台監督”というポジションがあることで解決のかもしれません。10-BOX最長寿事業「舞台スタッフ・ラボ」の「舞台監督講座」から基本の“基”を紹介し、「市民活動シアター」というまちなかの劇場をこれからどう使っていくのかを一緒に考えます。

▶このプログラムは、(公財)仙台市市民文化事業団(せんだい演劇工房10-BOX)の企画提供により実施します。

2 “わたくしごと”に潜む、社会を動かすチカラ -ハジマルフレームプロジェクト-

11月3日(木・祝) 15:00-17:00
会場:4階 研修室5
ゲスト:鶴岡ナリワイ女性プロジェクト 代表 井東敬子さん(写真左) OPEN SPACE KIKO 主宰 勝水与茶さん(写真右) カワラン 代表 菅原正徳さん(写真中)
定員:30名 参加費:無料

自分の好きなことや、得意なことは実は地域の課題解決に必要なチカラ。山形県鶴岡市で、女性が自分の好きなことで町の小さな課題を解決するスモールビジネス=ナリワイを創る方や、仙台で「人が好き」「川が好き」を出発点に活動する方々をお招きします。自分を起点に「私」を開き、「公共」へ多彩なインパクトをもたらしている事例から「わたくしごと」と地域のつながりを考えるトークイベントです。



3 仙台ミラソン2016 中間報告会

11月5日(土) 15:00-17:00
会場:4階 研修室5
ファシリテーター:一般社団法人ワカツク 代表理事 渡辺一馬さん
定員:30名 参加費:無料

学生を中心とした若者や若手市職員が、仙台市の抱える地域課題の解決に取り組む「仙台ミラソン2016」。今回はその活動の中間報告会を開催します。

※ミラソンとは、「未来志向のまちづくりをミラソンのように続けていく」という意味を込めた造語です。

▶このプログラムは、仙台ミラソン実行委員会の企画提供により実施します。

4 「Girl Rising-私が決める、私の未来-」 DVD上映会

11月6日(日) 10:00-12:00 (上映101分)
会場:6階 セミナーホール 定員:50名 参加費:無料
映像提供:(公財)プラン・インターナショナル・ジャパン

早すぎる結婚や女子教育を阻む様々な障壁、震災、貧困、強制労働、性的虐待など、途上国の女の子たちを待ち受ける高くて非情な壁。「女の子だから」という理由だけで直面する過酷な現実と、彼女たちの持つ希望や可能性を描いたドキュメンタリー風のオムニバス映画です。ナレーターには、メリル・ストリープやアン・ハサウェイなど、豪華俳優陣が出演。映画を通して、世界の女の子たちについて一緒に考えてみましょう。

▶このプログラムは、(公財)せんだい男女共同参画財団の企画提供により、男女共同参画推進せんだいフォーラム2016関連企画として実施します。

5 東北大学学生ボランティア復興支援活動報告会

11月6日(日) 13:00-15:00
会場:5階 交流サロン
参加者:東北大学高度教養教育・学生支援機構 課外・ボランティア活動支援センター、東北大学地域復興プロジェクト「HARU」
コメンテーター:一般社団法人パーソナルサポートセンター 理事 菅野拓さん
定員:50名 参加費:無料

東日本大震災発生以降、仙台市の多くの学生が復興支援活動に従事し、現在でもその活動は続いています。4月に甚大な被害を受けた熊本市でも、学生たちは実地調査やボランティア活動を積極的に行いました。学生たちの被災地での経験や活動、日頃の取り組み等をご紹介します。

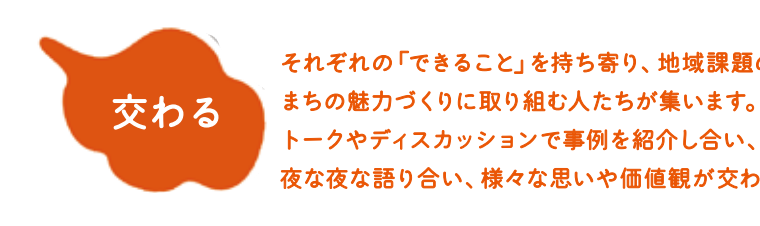
▶このプログラムは、東北大学高度教養教育・学生支援機構 課外・ボランティア活動支援センターの企画提供、仙台市まちづくり政策局との連携により実施します。

6 マチノワークショップ & カフェ

11月5日(土) 10:00-17:00
11月6日(日) 10:00-14:00
会場:1階 エントランス

「NPOってどんなことをしているの?」という皆さんに、NPOを知ってもらいたい!そんな思いから、NPOがワークショップを開き、それぞれの活動をわかりやすく紹介します。ワークショップは1時間ごとに団体が入れ替わるサーキットスタイルです。様々なワークショップをお楽しみ頂き、多彩な活動に触れてみてください。

※ワークショップは当日申込です。各メニューの詳細はサポセンホームページでお知らせします。



それぞれの「できること」を持ち寄り、地域課題の解決やまちの魅力づくりに取り組む人たちが集います。トークやディスカッションで事例を紹介し合い、時には夜な夜な語り合い、様々な思いや価値観が交わります。

7 地域メディア公開編集会議 共感を生み、伝えるメディアをつくろう

11月3日(木・祝) 13:00-15:30
会場:5階 交流サロン
ゲスト:soar編集長 工藤瑞穂さん(写真左) soar副代表 モリジュンヤさん(写真中) ファシリテーター:一般社団法人 Granny Rideto 代表理事 桃生和成さん(写真右)
定員:30名 参加費:無料

仙台のまちには、社会の課題解決のため自発的に活動している人や団体が数多く存在しています。一方、市民活動と何の接点もなかった市民が、伝える手法を学び、活動の現場を取材する機会を得て市民ライターとして活動を始めました。市民による草の根活動を、市民目線で発信するにはどうしたらよいのか?社会的マイノリティの活動に焦点を当て、全国に発信している「soar」の工藤瑞穂さんと共に、とことん話し合う公開編集会議を開きます。



8 マチノワ・ラボせんだい 創発する協働へ データ、リサーチ、アクション わからない未来を、みんなでワクワクに変える

11月5日(土) 16:00-18:00
会場:地下1階 市民活動シアター
ゲスト:公益財団法人 地域創造基金さなぶり 事務局長 鈴木祐司さん NPO法人都市デザインワークス 事務局長 佐藤芳治さん
定員:30名 参加費:無料

ゲストは、とうほく復興データプロジェクトなど、今後の復興・創生期に向けた地域の状況をデータ化して多様な担い手に届けている鈴木さんと、まちづくりの際に独自のデータを制作し、参画する市民の議論や検討を具体化している佐藤さんです。ゲストのお話を題材に、データから地域課題を可視化し、セクターを越えてアクションを引き出す仕組みについて、参加者の方々と一緒に考えていきます。



9 まちづくり活動団体情報交換会 おりませトーク

11月5日(土) 16:00-17:30
会場:5階 交流サロン 定員:40名 参加費:無料
申込み締切:10月21日(金)

「こんなまちにしたい」「こんな活動がしたい」。私たちの周りには、活動する分野や場所が違って、同じ思いや関心を持つ人がいるはず。おりませトークは、地域に根ざしてまちづくりに取組む人、それをサポートする組織や行政の人など、日頃知り合う機会のない人との出会いの場です。賑やかにテーブルを囲み、お互いの共通点や違いを知り、経験や思いを織り交ぜることで、新たなつながりやひらめきが生まれるかもしれません。お気軽にご参加ください。

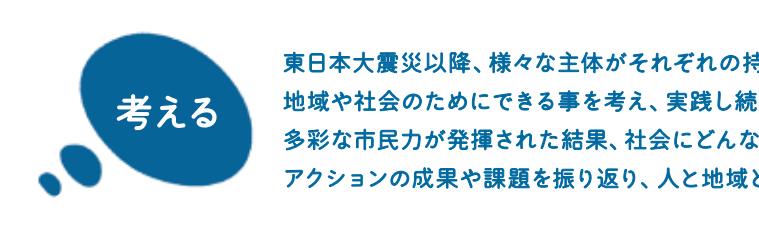
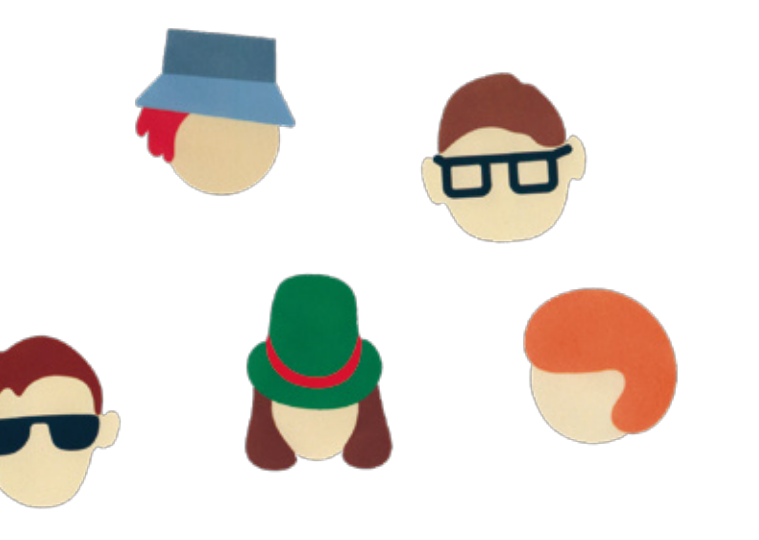
▶このプログラムは、仙台市各区役所との連携により実施します。



10 NETWORKING TIME ヨナヨナ

11月3日(木・祝) 16:00-18:00
11月4日(金) 19:00-21:00
11月5日(土) 18:00-20:00
11月6日(日) 16:00-18:00
会場:地下1階 市民活動シアター
定員:50名 参加費:1,000円(2ドリンク)

マチノWEEKのゲストや参加者が集う交流会を、夜な夜な開催します。4日間で16企画を実施するマチノWEEKには、毎日多彩なゲストが出演し、参加者も多様な方々が集まります。企画を横断する新たな出会いが、まちづくりのアイデアに化学変化を起こすかも?夜だけ参加も大歓迎。お気軽にお立ち寄りください。



東日本大震災以降、様々な主体がそれぞれの持つ力を発揮し、地域や社会のためにできる事を考え、実践続けています。多彩な市民力が発揮された結果、社会にどんな変化があったのでしょうか。アクションの成果や課題を振り返り、人と地域と社会とのつながりを考えます。

11 ソーシャルインパクト-社会的成果を生み、持続可能な活動を維持していくための経営戦略とは-

11月4日(金) 15:00-18:00
会場:6階 セミナーホール
ゲスト:株式会社PubliCo 代表取締役COO 山元圭太さん
定員:50名 参加費:無料

活動のもたらすソーシャルインパクト(社会的成果)について理解し、自団体の活動をより社会を変えるアクションに転換するための考え方について学べる講座です。「限られた資源でいかに成果を生み出すか」「活動を持続可能にするためにどうするか」など、ソーシャルインパクトを意識した組織運営・事業展開のポイントや方法についてお話しできます。

12 “アシスタカフェトーク× SENDAI Social Innovation Night”

11月4日(金) 17:00-19:00
会場:地下1階 市民活動シアター
モデレーター:(公財)仙台市産業振興事業団ビジネス開発ディレクター 影山祥子さん
ゲスト:「誰かのため」「地域のため」という思いをもってチャレンジをしている起業家の皆さん
定員:100名 参加費:無料

先輩起業家をゲストに迎え、ご自身の体験をもとに起業についての本音を語っていただくトークセッション。今回は「SENDAI Social Innovation Night」とのコラボレーション。「誰かのため」「地域のため」という思いをもってチャレンジをしている起業家の皆さんをゲストに迎え、起業までの道のり、仕事への思い、経営者としての経験など、志とビジネスの両立についてお話をいただきます。社会起業を目指す方には、先輩起業家の生の声が聞ける貴重な機会になるはず。このプログラムは、仙台市起業支援センター「アシスタカ」の企画提供、せんだい創業支援ネットワークの後援、仙台市まちづくり政策局、経済局との連携により実施します。

A 市民活動なんでも相談コーナー

11月3日(木・祝)-6日(日) 10:00-17:00
会場:3階 相談コーナー 参加費:無料

思いを整理し、課題解決へのお手伝いをします。サポセンスタッフが、市民活動や組織運営に関する幅広いお問合せ・ご相談に応じます。また、企業の社会貢献活動、行政等との協働についての相談も受け付けます。お気軽にお立ち寄りください。

13 メディア一次産業化宣言。地元を地道に耕す法

11月4日(金) 18:00-20:00
会場:5階 交流サロン
ゲスト:3.11オモイボランティア宮城野さんぼみち 八嶋敏郎さん(写真中) 南蒲生町内会 吉田祐也さん(写真右) 仙台市市民活動サポートセンター情報企画チーム 葛西淳子
定員:50名 参加費:無料

市民が自ら地域の魅力を掘り起こす活動は、市民目線の草の根的な活動として評価される一方で、地域住民の巻き込みや、地域資源の活用といった点で課題もあります。今回は、地域の魅力を発見・発信する上での課題や醍醐味について、地域での実践者の方々を交えて、参加者の皆さんと考えてみたいと思います。

▶このプログラムは、地域メディアネットワーク検討会の企画提供により実施します。



14 文部科学省・地(知)の拠点整備事業 関連シンポジウム 「宮城・熊本・岩手をつなぐ」

11月6日(日) 10:00-12:00
会場:5階 交流サロン
ゲスト:NPO法人遠野まごころネット 理事 多田一彦さん(写真上) 一般社団法人みやぎ連携復興センター 事務局長 石塚直樹さん(写真下)
定員:50名 参加費:無料

東日本大震災、熊本地震、そして台風10号による豪雨被害と立て続けに起こっている災害からの復旧・復興における地域の力の大切さとそれをより活かすための社会システムについて考えます。

▶このプログラムは、東北学院大学地域共生推進機構の企画提供、仙台市まちづくり政策局との連携により実施します。

B クロージングイベント 「一人ひとりの創造力と協働まちづくり」

11月6日(日) 14:00-16:00
会場:地下1階 市民活動シアター
ゲスト:NPO法人エイブル・アート・ジャパン代表理事 柴崎由美子さん 宮城大学教授 風見正三さん (宮城大学事業構想学部長兼宮城大学大学院事業構想学研究所長) 奥山恵美子 仙台市長
定員:70名 参加費:無料

マチノWEEKでは、様々なまちづくりのアイデアをショーケース的にご紹介しました。このクロージングイベントは、この4日間の振り返りや、ゲストからの話題提供をもとに、これからの協働によるまちづくりを考えます。